

方向性② 人口減少の抑制に効果のある事業

2024/5/24 夢・未来 たからづか創生本部会議 資料③-2

子ども等の居場所、遊び、学び

子どもの遊び、学びにあふれるまち
 子どもの居場所の充実
 郷土資料の収集と情報発信
 図書館の市民利用拡大

⇒庁内検討会では、あまり議論が深まらなかった。重要な視点ではあるが、民間イベントも合わせた情報発信、官民連携等が内容になると思われるため、右の「子ども、子育ての官民の情報発信」に包含するものとする。

子ども、子育ての官民の情報発信

子ども子育てに関する官民のイベント、手続き等の情報が得られる仕組み
 子ども、子育てに関する手続きや情報のSNS発信

- ・市主催でない子育てイベントが集約されるプラットフォームがあればいい。
- ・R6年度に子育て情報や、手続きをInstagramのリーク動画での発信を行う予定である。併せてnoteで様々な子育て情報を発信していきたい。
- ・若い世代はパンフレットは読まないという。動画等が中心。

特色ある教育

特徴的な教育（デジタル、外国文化、歌劇、漫画）
 デジタルに慣れ親しめる教育
 特色ある通わせたい学校づくり

- ・実施することで人口抑制にどの程度効果があるか、エビデンスをしっかりと検証する必要がある。
- ・特徴的な教育をするならその実施に係る必要な予算や人員を充実しないとイケない。
- ・まずは、現在実施している内容の発信に注力すべきである。

⇒財政状況も踏まえ、まずは情報発信に注力する。

安心して子どもを育てることができる環境の整備（仕事と子育ての両立） 出産してもらいやすい様々な環境整備 女性の休みやすさと働きやすさ、復帰しやすさ	安心して妊娠・出産・子育てができるための支援（経済的困窮）	子ども連れを歓迎する環境づくり	都市計画の緩和、運用（生産緑地、最低敷地面積など）	跡地活用による、企業・住宅の誘致 私立大学や私立高等学校の誘致（昼間人口の増）
転入促進に向けた市内外への市の施策、強みの戦略的な発信 住みやすさの効果的な情報発信	新婚家庭をターゲットにした定住促進策 若者の就職支援、住居支援、移住支援	市の住宅地としてのブランド力の強化による住宅開発（リノベ含む）	市への愛着の醸成（企画） ふるさと宝塚の文化遺産を守り活用する	子育て世代にやさしいデジタルなまち（Wifi化でどこでも仕事ができる） リモートでの働き方の推進
道路網の充実	ワークライフバランスの推進	温泉地へのワーケーションなど新しい客層の開拓 教育環境の整備	空き家を流通、活用する仕組みづくり 空き家の活用、マッチングをデジタル化する	外国人にとって働きやすく、暮らしやすく、訪れやすいまちづくり